

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	エル・パーク仙台
2 指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 92,536人(前年度比 97.2%) ※設備更新工事のため、令和5年12月1日から令和6年8月31日までギャラリーホール、スタジオホール、控室、準備室、楽屋、セミナーホール、セミナー室及び特別会議室を臨時閉室。 令和5年度 95,203人 令和4年度 112,423人
	《事業》 ・施設の管理運営 ・男女共同参画に関する市民活動の支援及び交流の促進、女性と防災まちづくり拠点事業 ・大規模災害時における仙台市女性支援センターの運営
5 収支の状況	《費用》 指定管理者に支払った費用227,642千円(216,268千円) その他市が負担した費用811,596千円(71,171千円) 《収入》 使用料収入26,894千円(20,398千円) その他収入497千円(429千円)
	《実施状況》 ①利用者アンケートの実施 令和6年11月12日から12月10日まで施設利用者に対してアンケートを実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示するとともに、ホームページ上で公開した。 ②センター利用団体交流会の実施 年度始め及び「男女共同参画推進せんだいフォーラム2024」期間中に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向け、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、月一回開催する全体会等の会議や研修の機会を通じて意識共有を図っている。また、館内の壁面や展示スペースを活用し、センターの事業や機能の紹介を常時行っているほか、男女共同参画推進への理解と関心を高めるための企画展示を随時実施している。利用者が公平・公正に施設を利用できるよう、情報提供や受付対応を行うとともに、市民活動スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通じて、市民が自主的に活動できる支援・交流の場の提供を行っている。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、年一回の内部研修等によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。	31/31
III 施設・設備の維持管理	建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、随時点検を行い、必要に応じ修繕を行っているほか、工事等による利用者の安全や利便性への影響を最小限とするよう、ビル管理会社、工事会社との連絡調整を適切に行っている。併せて、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ビル全体のゴミ分別に協力するとともに、利用者にもゴミ分別や節水を呼びかけるなど積極的な対応を行っている。	20/20
IV サービスの質の向上	服装や身だしなみ、電話窓口での対応など、日常的に適切な対応に努めており、姉妹館であるエル・ソーラ仙台との定期的なミーティングを通じて、常にサービス向上のための情報共有を行っている。 また、利用者の希望を丁寧に聴き取り、その状況に応じて事前のリハーサルを勧めたり、現場に出向いて操作説明を行ったりすることで、催事が円滑に進行するよう支援している。 さらに、貸室の備品等については写真付きの資料を用意し、窓口での手続き時に提示しながら説明を行うほか、希望する手続き内容を指差しで確認できるシートや電子メモパッドの活用、口頭での説明内容を文字にした補助資料の作成など、年齢・性別・障害の有無を問わず、すべての利用者が施設を利用しやすくなるよう工夫を行っている。その結果、大規模改修等により他施設が利用できずに、本施設を初めて利用する利用者への窓口対応に役立っている。	29/28
V 施設固有の基準	施設の使用許可、使用料の徴収・収納・還付事務については、規程等に基づき適切に実施されている。 女性と防災まちづくり拠点事業の中核を担っている「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く』」は、令和6年度までの9年間で約200名の修了者を輩出しており、令和6年度に開催された世界防災フォーラム(2年ごと開催)においては、同プログラムの修了者や市民団体に加え、企業の未来プロジェクトによる「仙台女性リーダー・トレーニングプログラム」の修了者にも登壇の機会を提供され、来場者数は約130名となった。この取り組みにより、まちづくりにおける多様な分野の女性リーダーの交流と活躍を広く発信した。 また、社会情勢を踏まえた講座を継続的に開講するとともに、受講者から派生した自主活動グループへの支援も継続し、専門性を活かした事業を展開している。併せて、各種事業のテーマ設定に工夫を凝らし、大学生ボランティアの受け入れを実施するなど、男性や若年層の来館を促進し、若年層への働きかけを強化しており、着実に成果を挙げている。	21/20

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人せんだい男女共同参画財団）による自己評価》
仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・ソーラ仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。ホール及び多様な諸室、市民活動スペースの管理運営を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、それぞれの機能が相互に連携し、男女共同参画推進センターとして一体的にアピールするよう努めている。また、市民活動スペース内に設置している女性と防災コーナーでは、防災まちづくりにおける女性のリーダーシップの重要性を効果的に発信している。開館から30年以上が経過し施設・設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、仙台市の長期修繕計画も視野に入れ、大規模改修までの間の修繕計画を仙台市と相談しながら着実に遂行し、利用者の安全性・利便性の確保に努めている。 (1)施設の管理運営 令和5年度に仙台市障害企画課の当事者アドバイザー派遣事業を活用して障害者への合理的配慮に向けた施設の改善及び職員の意識合わせを行った。令和6年度よりシルバーセンター及び福祉プラザが大規模修繕工事のため休館となり、合理的配慮が必要な利用者が増えたが、事前の準備が奏功しスムーズに対応できている。課内会議及びエル・ソーラ仙台受付担当職員とのミーティングを毎月行い、サービス向上のための情報共有を図っている。 (2)男女共同参画推進に関する市民活動の支援及び交流の促進、女性と防災まちづくり拠点事業 市民団体の活動の幅を広げるための交流会を行ったほか、チャレンジ・ラボ事業では初めてのイベント企画をサポートするなど、市民協働による事業を展開している。また、仙台市との共催事業「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く』」の修了者に女性と防災コーナーのミニイベントや世界防災フォーラムに登壇してもらうなど、各種事業と有機的に連携させ、地域で活躍する女性リーダーの見える化に取り組んでいる。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
エル・パーク仙台の管理運営にあたっては、施設利用に関する相談や申込受付において、利用者の希望を丁寧に聴き取り、その状況に応じて事前リハーサルを勧めたり、現場に出向いて操作説明を行ったりするなど、きめ細やかな対応を行っている。 また、貸室の備品等については写真付きの資料を用意し、利用者が作業工程を視覚的に理解できるよう工夫しているほか、希望する手続き内容を指差して確認できるシートや電子メモパッドの活用、口頭での説明内容を文字にした補助資料の作成など、常に利用者目線を意識した改善に取り組んでいる。 さらに、姉妹館であるエル・ソーラ仙台と情報共有を図りながら、施設利用に係る手続きの簡略化に向けた各種申請書類の見直しや、サービス水準を維持するためのマニュアル改定などを随時実施し、管理運営の質の向上に努めている。 施設の維持管理については、老朽化の進行を踏まえ、施設の状況を的確に把握しながら、更新・修繕等を適切に実施している。また、工事期間中は利用者が安全かつ安心して施設を利用できるよう配慮した。 センターを拠点に活動する市民団体の支援としては、貸室の先行予約や市民活動スペースの事前予約制度を設けるほか、年間を通じて公募共催事業を実施している。 「地域版女性リーダー育成プログラム」の修了者と、エル・ソーラ仙台で実施している「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」の修了者が登壇した世界防災フォーラムでは、町内会や民生委員組織、企業など、さまざまなセクターがまちづくりの主体であることを発信し、地域や企業において女性がリーダーシップを発揮できる仕組みを考える機会となった。 また、「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く』」の修了者が複数の主催事業に登壇したり、「ジェンダー論講座」の修了者グループが「男女共同参画推進せんだいフォーラム」に企画参加したりするなど、事業実施後も連携を深められるよう支援を行っている。 指定管理者としては、関係条例等に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、地域の女性たちとのつながりや多様な主体との連携を日常的に深めることで発信力を高め、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理がなされていると評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項	
女性と防災まちづくりに関連した事業	地域防災やまちづくりへの女性の参画を促進するため、以下の事業を実施した。 ①女性が地域でリーダーシップを発揮できるよう、自身の力を引き出す研修事業「地域版女性リーダー 育成プログラム『決める・動く2024』」を実施。事業開始からの修了者数が200名を超えた。また、東日本大震災以降の女性たちの防災まちづくりに向けた取り組みや、本プログラムについて紹介する動画「防災まちづくりと女性のリーダーシップ」を作成し、仙台防災未来フォーラムで上映した。 ②「仙台防災枠組2015-2030」の推進に向けて来館者の理解と関心を高めるため、女性のリーダーシップ促進に関する展示を常時実施しているほか、東日本大震災の教訓を伝える企画展示を行った。 ③防災まちづくりにおける平常時からの女性のリーダーシップを後押しし、女性の活躍を地域で支える環境づくりを推進するミニイベントを定期的に実施し、話題にあがったキーワードや意見等をイベント実施後も「女性と防災コーナー」に掲示した。
男女共同参画推進せんだいフォーラム	市民活動支援を目的とした「男女共同参画推進せんだいフォーラム2024」で財団企画を実施したほか、開催期間内に「ストップ！DV・性暴力市民講座」を実施することで、男性や若年層等の参加者を呼び込むことができた。また、「男女共同参画推進せんだいフォーラム2024」に参加する団体が企画を通して伝えたいメッセージをパネルにして館内に展示し、広く発信した。
市民活動スペースをはじめとするセンターの活性化に向けた取組み	市民活動スペースで「チャレンジ・ラボ事業」や「女性と防災まちづくり拠点事業」を展開しているほか、5階エントランスを活用し、男女共同参画週間や女性への暴力防止週間に合わせた企画展示を実施し、貸室利用者等の来館者への働きかけを効果的に行っている。また、男女共同参画推進を目的としてセンターを拠点に活動している市民団体の活動を支援するため、貸室の先行予約や市民活動スペースの事前予約制度を設け、社会的活動への展開を後押ししている。

◎ 評価担当課(施設所管課): 市民局市民活躍推進部男女共同参画課